

町政懇談会終了



住んでいて良かったと思えるまちへ

12 自治会で開催した町政懇談会は、町政運営に町民の皆さまの意見を反映することを目的に毎年開催しています。

今年は7月31日から8月31日までの期間で開催し、167名の方に出席していただきました。

懇談会では、地域の課題や町への要望、大雨被害への対応についてなど、多くのご意見・ご要望をいただきましたが、この誌面では、特に全町に共通するものについてご紹介します。

(Qは問、Aは回答説明です)

Q 大通りの中心に高齢者向け住宅を建設するということが、反対意見も多くあると聞いている。行政としてまちの将来像をどのように考えているのか。

A 住宅の建設については、若草団地の建替をどう進めていくかということ、約3年前から議論してきました。若草団地に住んでいる方は高齢者が多いということで、高い物や通院の利便性を考え、大通りの町有地を選定したところです。個人個人の考えには反対意見もあつて然るべきだと考えていますので、ご意見としては受け止めていき

ますが、議会とも検討を重ね、空地のままにしておくよりは良いというところで商工会や地域・自治会にも説明し、進めてきました。

隣地の寄付者からも福祉や高齢者のために役立ててほしいという意向がありましたので、この場所を活用し、進めてまいります。

Q 町民大運動会について、雨天の場合は総合体育館で実施するということがあったが、本当に中に全員が入ることができるのか疑問。

A 今年はグラウンドでの開催を決めたので、想定でしかありませんが、約千人が体育館に入つて運動会を実施するのは難しいと感じています。計画の段階では、スポーツ推進員からもご意見をいただき、雨天時の種目を選定しました。昨年の要望も踏まえ、なるべく中止せずに実施したいと考えてきましたが、今後様々な機会にご意見を伺いながら検討していきたいと思えます。

Q 保養センターの今後の方針をどう考えているのか。

A ボイラーが今後5〜6年は使える見込みです。

以前は公営住宅に風呂がなかったため、民間等の銭湯がない自治体

は設置の努力義務がありました。ボイラーの耐用年数を迎えた後の対応については、これから議論していく必要があると考えています。

Q 大成寿の家が避難所になつているが、昨年の大雨で被害があつた。そこが避難所が良いのか。

A 大成寿の家(自治会館)の一角に曲がっているところを改修し、直線にして雨量が増えても排水できるように、改修工事を計画しています。芳生苑について、ベッドに空きがあつても職員数が足りなくて入れないという状況は、100床定員となつていますが、現在は定員より少ない入所者数となっています。

Q 制度が変わり、要介護3以上の方でないと入所できなくなったため、入所される方より退所される方が多くなつたことが原因です。

また、介護職員の募集もしていますが、応募が少なく、なかなか採用が進まない状況です。ただ、定員まで入所できる環境にはなっています。

なお、待機者リストの管理もしていますが、比較的軽度の方が多く、要介護3以上という入所の要件を満たす方はいない状況になっています。

Q 在宅の介護には課題が多い。認知症サポーターの取り組みもしているようだが、実際に家族が認知症になったり、介護が必要になったりした場合どうすれば良いか、介護保険制度をどう使えるか周知しているか。

A 認知症サポーターは、一般に広く認知症という病気を理解していただくために取り組んでいるものです。介護保険制度を利用する場面になって初めて制度を知る場合がほとんどだと思います。支援が手遅れにならないよう、努力していきます。

Q 稲わらの焼却がなかなか減らない。交通に支障が出ることもあるので、行政で働きかけてほしい。

A これまで、防災無線での注意喚起や稲作振興協議会での議論をしてきました。努力されている農家の方々もいますので、さらに協力を呼びかけていきたいと思えます。今年には熊が多いように感じるが、町ではどのような対策をしているのか。

A 和寒町内でも、例年に比べて熊の出没情報や目撃情報が増えています。中和墓地の上（19線9

号）でも出没情報があり、お墓参りに訪れた方々の安全を確保するため、注意看板を設置したり、朝夕に職員が爆竹を鳴らして近寄せないように対応してきました。

Q 今後も人的被害を防ぐため、できる限り努力していきます。
Q 塩狩温泉跡地を整備しているが、温泉を活用できないのか。

A 当時は2カ所の源泉があったようですが、現在は沸いていない状況です。再度ボーリング調査を行うとなると、それだけでも数億円はかかると見込まれますので、残念ながら活用は難しいと考えています。

Q 西和のごみ処理場が残り8年くらいでいっぱいになると説明があったが、今後ごみの有料化などは考えているのか。

A ごみ処理場については、新規建設だけでなく、広域化も含めて幅広く検討していきたいと考えています。近隣の市町村とも連携して、どのような方法が良いか研究したいと思えます。

Q 議会の一一般質問で「奥山カラーを出してはどうか」と言われていたが、リーダーシップについてどう考えているか。

A 大きな声を出すことがリーダーだとは思っていません。厳しいところから逃げない姿勢を続けていきたいと思っています。

また、普段から皆さんに信頼していただけるような行動をしていきたいと考えています。見えづらい部分かもしれませんが、これまで多くの先輩方が作ってきたものをどう守っていくかということが必要だと考えており、現在は近隣の市町村とこれまで以上に連携を強化してきています。

新しい施設ができるような、目に見えやすいものではないかもしれませんが、町民の皆さんに評価していただけるよう努力していきたいと思えます。

Q 昨年の大雨で下水が溢れてトイレが流れなくなった。今後同じようなことが起きる可能性があるが、何か対策は。

A 雨水が下水管に入りこまないように穴をふさぐ等、改修は毎年進めています。また、水の流れを良くするために、川下の改修も実施し、大雨の際にはポンプ排水を行なっています。今年はポンプの台数を昨年より増やして14台を確保し、災害に備えています。

Q 大通りの街灯は2つ縦に並んでいるが、1つで良いのでは。

A 今年度から街灯のLED化に向けて調査を実施します。今年調査を行い、来年度に交換する予定です。併せてどのような方法が良いか検討していきます。

Q 公民館の横にあるS.Lを塩狩峠に移動することは可能か。

A 塩狩峠・夫婦岩整備検討委員会からも移設について提案がありました。他自治体では移設に数千万円を要した例もあります。また、今までもおり適切に管理できるところも含めて検討する必要があると考えています。すぐにできることではありませんが、様々な角度から検討したいと思えます。

このほか、まちづくりのアイデアや行政に対するご意見・ご要望、地域の困りごとなどが寄せられました。急を要するものや後日確認が必要になるものについては、自治会の皆さんや関係機関と協議し、処理状況を関係者や各自治会にお知らせすることとします。町政懇談会に関するお問い合わせは、総務課情報管理係（TEL 32-2421）までご連絡ください。